

# フクイシブキツボ

*Fukuia multistriata* Abobott & Hunter  
 新生腹足目・イツマデガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅰ類

## 選定理由

越前市小野町タイプ産地は、道路工事・採集圧で消滅したと思われるが、越前町のほかの生息地の生息地は公園整備が進み、越前町では林道改修で環境が相当悪化してきて、最近では生息確認個体がみられない。

## 種の特徴

ニクイロシブキツボの地方型としていたが、雄生殖器（陰茎）の先端が長大であり異なる。殻長 5.0～7.0 mm、殻径 3.6 mm、卵型錐形状、薄いが堅固。常に滝や瀬で、常に飛沫のかかる岩肌や苔藓類の局所的な生息環境に成育する。

## 分 布

本種は、ニクイロシブキツボの地方型として位置付けられている。県内では越前海岸や越前市でかけて局所的に確認されていた。

## 生息を脅かす要因

生活道路や林道拡張工事による生息地の破壊、集中豪雨等の岩肌の崩壊、景観整備、公園化の整備等で簡単に消滅する。

参考文献 金安（1975）、金安（1975）、湊（1979）、江川（1985）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○					○					

# オオウスイロヘソカドガイ

*Paludinella tanegashimae* (Pilsbry)  
 新生腹足目・カワザンショウガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

越前海岸地帯の海岸道路建設地の生息地は極度に縮小し、そのほかの既知の生息地では確認されない等、危機的水準まで減少している。

## 種の特徴

殻高 7.8 mm、殻径 5.2 mm 程度。円錐形卵型で、殻色は光沢のある茶褐色である。軟体は黒褐色。海岸の打ち上げ物や海藻のある岩礫の間に生息する。

## 分 布

本州及び九州に分布する。県内では越前町の呼鳥門付近や玉川海岸に生息するが激減している。

## 生息を脅かす要因

生息地の潮間帯が重要であり、海岸線の埋め立てや海岸部の道路建設等による生息地の直接的改変が主な要因である。

参考文献 福井県編（2002）、福井県自然環境保全調査研究会編（1985）、東（1995）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										○

# ナガオカモノアラガイ

*Oxyloma hirasei* (Pilsbry)  
 異鰓目・オカモノアラガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

水中には入らないが、水田地帯の自然の用排水路や河川の水際エコトーン環境に生息するため圃場整備や河川改修により危機的水準まで減少している。

## 種の特徴

殻高 20 mm、殻径 13 mm 程度（殻高 12.5 mm、殻径 6.5 mm 程度）、長卵型の貝類。淡褐色の殻は薄質半透明である。河川の水際のヨシ帯や水田の畔等の植生が繁茂した極めて湿潤な環境に生息する。

## 分 布

本州及び九州に分布する。県内では、嶺北地方や嶺南地方の自然環境が残る平野部の水際に分布する。

## 生息を脅かす要因

河川の護岸工事による植物の除去や、湿地の埋め立て等の開発、農薬の使用等に起因する。

参考文献 福井県編（2002）、環境省編（2014）、福井県自然環境保全調査研究会編（1985）、東（1995）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○				○	○	○	○	○			○

陸産貝類